

# 日本庭園学会 *The Academic Society of Japanese Garden News* ニュース

NO. 86  
平成28年

平成28年度 全国大会(足利大会)開催案内

発行 日本庭園学会(会長 鈴木久男)  
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1  
東京農業大学 地域環境学部 造園科学科  
ガーデンデザイン研究室内  
TEL(03)-5477-2430(鈴木誠研究室)  
<http://www.soc.nii.ac.jp/asjg/>

## 平成28年度 全国大会(足利大会)開催案内

平成28年度日本庭園学会全国大会(足利大会)を、下記のとおり開催いたします。会員のみなさまの大会への参加を、心よりお待ち申し上げます。

記

### <日程・内容・会場>

日程：平成28年6月11日(土)～平成28年6月12日(日)

内容：6/11 研究発表会及び総会、日本庭園学会賞受賞者講演

6/12 現地検討会及びシンポジウム・文化財庭園の調査・整備・維持・管理

会場：研究発表会・総会及びシンポジウム：足利商工会議所(足利市通3丁目2757)

現地検討会：史跡樺崎寺跡ほか足利市内の庭園3カ所

情報交換会：レストラン ぼるか(足利市柳原町862-1)

後援：足利市教育委員会

### <参加費(案)>

学会員・足利庭園文化研究会会員：2,000円

非会員：4,000円

※学生は、会員の場合1,000円、非会員の場合は2,000円とします。

※大会参加費については、1日のみの参加でも上記金額を徴収します。

資料代：1,000円(大会参加者にはセットでお渡しするが、別途資料のみを購入する場合に必要な金額)

情報交換会(6/11)：5,000円

### <現地検討会申込先>

大澤伸啓(日本庭園学会全国大会運営委員長)

メール：nobuosawa2003@yahoo.co.jp

FAX：0284-21-5535

定員：40名(先着順)バス等料金2,000円徴収いたします。

### <問い合わせ>

栗野 隆(日本庭園学会全国大会運営担当、東京農業大学)

電話：03-5477-2428

メール：t3awano@nodai.ac.jp

## ■平成28年度 日本庭園学会全国大会

### 開催内容・プログラム：第1日目

<日 時>平成28年6月11日(土)

<会 場>足利商工会議所(足利市通3丁目2757)

#### ◆研究発表会

09:00～09:30 受付開始(足利商工会議所)

09:30～09:40 開会挨拶

#### - 研究発表会(午前の部) -

09:40～10:05 足利の近代庭園・小崎家庭園について

足立 佳代

10:05～10:30 「名勝無鄰庵庭園」の本質的価値を見つめた庭園管理

—山縣有朋の愛した野花を生かした芝生管理のあり方—

阪上 富男・加藤 友規・

半田 沙奈絵

10:30～10:55 戦国期庭園の多様性

大澤 伸啓

10:55～11:05 休憩・時間調整

11:05～11:30 京都市内の伝統的民家の住民における庭に向けての意志

今江 秀史

11:30～11:55 「一遍上人絵伝」の建物周辺の描写にみる鎌倉期の人々における庭に向けた意志

今江 秀史

#### 昼食休憩／理事会・総会等

12:00～13:00 昼食休憩／理事会

13:00～14:00 総会・日本庭園学会賞授賞式

#### - 研究発表会(午後の部) -

14:00～14:25 韓国庭園モデル化事業

洪 光杓・安 明俊・李 赫宰

14:25～14:50 韓国の日本式民家庭園と日本の民家庭園の類似性に関する事例的考察

察

鈴木 誠・佐々木邦博・服部 勉・

栗野 隆・松本 恵樹・

Hong, Kwang-py・Hur, Sang-heun・

You, Ju-han・LEE, Hyukjae

14:50～15:10 休憩・時間調整

15:10～15:35 絵画史料から復元した松平不昧公大崎苑の特徴について

関口 敦仁

15:35～16:00 <場所性>・<時間性>と庭

森 泰規

16:00～16:25 東京都内の公開日本庭園の利活用施策に関する研究

牧田 直子・真田 張格瑋・

鈴木 誠

16:25～16:30 閉会挨拶

## ■平成28年度 日本庭園学会全国大会

### 開催内容・プログラム：第2日目

<日 時>平成28年6月12日(日)

<会 場>足利商工会議所4階友愛ホール

#### 「文化財庭園の調査・整備・維持・管理」

近年、全国の文化財庭園で調査や整備、修理が進められている。また、日常の維持、管理も欠かせない。本大会では、庭園の悉皆調査、史跡樺崎寺跡庭園の保存整備を行っている足利市の事例をもとに、文化財庭園の調査・整備・維持・管理について考察する。これらを実施する方法や留意すべき点等、先進地の事例をもとに検討したい。

#### - 現地検討会(午前の部) -

08:30～09:00 現地検討会受付：参加費としてバス料金等を徴収(金額未定)

集合場所：足利商工会議所駐車場

09:00～12:00 新藤家庭園・巖華園・史跡樺崎寺跡庭園見学

(案内・解説者：外丸、足立、板橋)

休憩

12:30～13:00	シンポジウム受付 総合司会：企画委員会大会運営委員担当
13:00～13:05	開会挨拶：鈴木久男会長
13:05～13:10	趣旨説明：大澤伸啓実行委員長
13:10～13:40	足利市における庭園調査と庭園管理の現状 外丸 実（足利庭園文化研究会会長）
13:40～14:10	史跡樺崎寺跡庭園の調査と整備 板橋 稔（足利市教育委員会）
14:10～14:40	京都における庭園の発掘調査 鈴木久男（日本庭園学会会長）
14:40～15:10	京都における文化財庭園の育成管理 加藤友規（日本庭園学会理事）
15:10～15:40	文化財庭園の整備 小野健吉（日本庭園学会理事）
15:40～16:10	保存管理計画の作成方法 今江秀史（日本庭園学会理事）
16:20～16:50	総合討論 司会進行 大澤伸啓
16:50～17:00	閉会挨拶
17:00	解散

## ■講演者・パネリスト・座長 プロフィール

### ・外丸 実氏

京都造形芸術大学院（通信・修士課程）日本庭園分野修了。現在、外丸造園代表のほか、足利庭園文化研究会代表を務める。

### ・板橋 稔氏

現在、足利市教育委員会にて、史跡樺崎寺跡庭園等の調査や整備の実際に関わっている。

### ・鈴木久男氏

愛知県出身。約30年間にわたり、公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所において鳥羽離宮跡や平安京跡の発掘調査を推進。現在、京都産業大学文化学部教授。日本

庭園学会会長。

### ・加藤友規氏

千葉大学園芸学部園芸経済学科卒業。京都造形芸術大学大学院博士課程修了。「渉成園の空間的特質に関する研究」で日本造園学会賞（研究論文部門）受賞。現在は植彌加藤造園株式会社代表取締役社長のほか、京都造形芸術大学 環境デザイン学科客員教授を務める。博士（学術）。

### ・小野健吉氏

和歌山県出身。京都大学農学部卒業。奈良文化財研究所および文化庁記念物課にて遺跡の発掘調査や庭園の調査研究、保存修復に従事。博士（農学）。

### ・今江秀史氏

山口県出身。京都芸術短期大学専攻科修了後、造園コンサルタント勤務を経て、京都造形芸術大学修士課程修了。現在、京都市文化財保護課に所属。京都市内における名勝庭園の調査、保存修復に従事。

### 大澤 伸啓氏

栃木県出身。明治大学文学部史学地理学科考古学専攻卒業。現在、足利市教育委員会生涯学習課長。立正大学非常勤講師・栃木県考古学会理事・日本庭園学会理事。

## ■平成28年度 日本庭園学会全国大会研究発表の概要

### 1. 足利の近代庭園・小崎家庭園について

足立 佳代（立正大学大学院博士課程）

概要：足利の近代庭園、小崎家庭園を紹介する。織物の買継商であった小崎家は、昭和9年に現在地に新居を建築し、まもなく庭園も造営した。玄関脇・洋館の前の池と主屋の庭をつなぎ、敷地があまり広くない中で、奥行を感じさせる。主屋南面の庭は、クロボクとチャート、鉄平石を組み合わせた築山を中心に枯れ池を配する。作庭は、吉田彦策（初代植彦）である。管理がよく行き届き、庭を眺められるレストランとして活用されている。

## 2. 『名勝無鄰庵庭園』の本質的価値を見つめた庭園管理 —山縣有朋の愛した野花を生かした芝生管理のあり方—

阪上 富男・加藤 友規・半田 沙奈絵（植彌加藤造園（株））

概要：無鄰庵は、施主である山縣の構想により作られた庭園である。文化財庭園の管理は、その本質的価値を顕現することが大切であり、山縣の想いを尊重し、その感性を読み取り、現代との感覚の違いを見極めた庭園管理を行ってきた。そのひとつとして芝生地での管理では、諸資料から読み取ることができる「野花」に注目した。山縣が愛でていたであろう自然に咲く野花に対して調査・研究を実施し、野花を生かした芝生管理のあり方を紹介する。

## 3. 戦国期庭園の多様性

大澤 伸啓（足利市教育委員会）

概要：近年、戦国城館における庭園の発掘調査が盛況を呈している。これらの調査成果をみると、従来考えられていた以上に、多くの城館にあり、また内容も多様性をもつことがわかってきた。本報告では、最新の調査成果を踏まえながら、戦国期庭園に対する新たな見方を示したい。

## 4. 京都市内の伝統的民家の住民における庭に向けての意志

今江 秀史（京都市文化財保護課、大阪大学大学院人間科学研究科）

概要：平成22～25年にかけて京都市では、近世から近代にかけて築造された100件の民家の庭について実態調査が行われた。本論はその成果を踏まえ、町家を含む民家の庭に向けた住人の意志の解明を試みる。民家の住民にとって庭と建物は、密着したものであり、互いに相対化したり分離したりすることはできない。庭と建物は衣食住と相互依存の関係にあり、その一端としての庭は日常生活において理にかなった構造をもっている。

## 5. 『一遍上人絵伝』の建物周辺の描写にみる鎌倉期の人々における庭に向けた意志

今江 秀史（京都市文化財保護課、大阪大学大学院人間科学研究科）

概要：庭についての資料が極少である鎌倉期では、当

時の庭の実態を知る手がかりとして、絵図は重要である。本論は、時宗の開祖・一遍（1239－89）の生涯を描写した絵巻「一遍上人絵伝」に基づき、諸国を遊行する一遍の行動と共に描写された建物に伴う庭の意味の顕在化と、当時の人々の庭に向けた意志の解明を試みるものである。庭は日常生活の具体的な利用と併せて描写され、作り庭を含む多様な形態と今日に繋がる構造がみられる。

## 6. 韓国庭園モデル化事業

洪 光杓（東国大学）・安 明俊（造景施工研究所 nTi）・李 赫宰（太陽環境開発（株））

概要：韓国の伝統的な庭園のデザインはその事例が不足し、伝統の意味とデザインの関係が明確ではないため、デザイナーの感覚に依存するケースが多い。そこで韓国庭園をモデル化することで、現時代に相応しい韓国庭園の造成のための機能性、効用性、および拡散性を考慮した現代的韓国庭園の構築を試みた。また、体系的でなデザインと具体的な活用方案、振興のための必要な政策方案を提示した。対象地である小公園には対象地の特性を生かした植物デザインやモデル化した方池と亭子、花階、マダン等が造成され生活空間として活用される予定である。モデル化事業の対象地の名は地域の名前と景観から神仙が集まる庭園をイメージし遊仙園と名づけた。

## 7. 韓国の日本式民家庭園と日本の民家庭園の類似性に関する事例的考察

鈴木 誠（東京農業大学）・佐々木 邦博（信州大学）・服部 勉・栗野 隆（東京農業大学）・松本 恵樹（春秋設計工房）・Hong, Kwang-py・Hur, Sang-heun・You, Ju-han（東国大学）・LEE, Hyukjae（太陽環境開発）

概要：これまで、韓国に遺存する日本庭園について日韓共同研究を進めてきた。その研究概要は平成27年度日本庭園学会全国大会発表論文として報告したが、今回は具体的事例として2庭園を紹介した。一つは韓国の慶尚南道昌寧郡大池面石里の韓国民家に付随した日本庭園「成氏古宅庭園」、もう一つは全羅南道海南郡の旧日本家屋の日本庭園（現・韓国地酒造場の庭園）であり、それぞれの形態的特徴とそれに類似した日本の民家庭園と比較考察した。

### 8. 絵画史料から復元した松平不昧公大崎苑の特徴について

関口 敦仁（愛知県立芸術大美術学部デザイン工芸学科）概要：松江藩主松平治郷（不昧）公が大崎下屋敷に設営した大崎苑は11箇所に茶室が配置された庭園である。絵画史料として指図と谷文晁が描いた新景図などがあり、これらを元に3DCGによる地形、建物、植栽の復元をおこなった。それによって約20mの標高差を利用し、茶室露地などが連続する庭園の特徴が見られた。

### 9. <場所性>・<時間性>と庭

森 泰規（博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局）

概要：作曲家の武満徹は、庭と音楽はたいへん近いと生前繰り返し述べていた。では<何において近いか>というと、それは<時間性><場所性>という概念（的理

解）を通じてではないか。これまでの『作庭記』に関する考察を跳躍台とし、演奏実演も交えて検討を深めるシリーズを開始する。

### 10. 東京都内の公開日本庭園の利活用施策に関する研究

牧田 直子・真田 張格瑋・鈴木 誠（東京農業大学造園科学科・東京農業大学国際日本庭園研究センター）

概要：本研究は、東京都内の一般公開されている日本庭園を対象として各種情報収集を実施し82庭園（公営71、私営11）の存在を確認した。これらの庭園の基礎情報（所在地、造園経緯、付帯施設、管理者、運営者、イベント内容など）をまとめ、そのうちの50庭園の現地調査を行い、利用状況を把握した。さらに各種行事やイベントの有無、実施された場合のイベント内容から、運営側の施策と庭園利用の関係性を類型化しその特徴を考察した。



平成28年度全国大会会場（本地図を参照してお越しください）

#### 【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願ひします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願ひします。

#### 【協力者】

齋藤 絢子、山本 千晶（植彌加藤造園株式会社）

#### 日本庭園学会広報委員会

今江 秀史・加藤 友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

京都造形芸術大学日本庭園・歴史遺産研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342